



- ⑤著 書
- ⑥学会発表（特別講演、宿題報告、シンポジウム、パネルディスカッションなど  
主要なもの、及び国際学会）
- (3) 研究教育等実績一覧 【様式3の1～3の3】
  - ①教育実績
  - ②社会及び学会における活動実績
  - ③研究補助金等の実績
- (4) 応募者周辺の方へのアンケート調査に係る同意書 【様式4】
- (5) 教育、研究等に対する抱負 【様式5の1～5の4】
  - ①教育に対する抱負
  - ②研究に対する抱負
  - ③医療情報セキュリティ管理・医療DX推進に対する抱負
  - ④講座運営・地域医療に対する抱負
- (6) 主要業績の別刷（10編以内） 各2部  
別刷は、事後に返却いたします。
- (7) 関係者の推薦書  
厳封の上、別便で推薦者から直接送付してください。
- ※ 応募書類（様式等）については、大学院医学研究科ホームページ「教員公募情報」  
(<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/teacher.html>) からダウンロードでき  
ます。

10. 応募期限 令和 6年12月24日（火）17時【日本標準時】

11. 選考方法 (1) 書類審査  
(2) 選考の過程において、応募者周辺の方に対して、応募者の教育、研究、管理運営の参加の状況等についてのアンケート調査を実施します。また、選考委員との面接、模擬講義、教育・研究に関する抱負等の発表のため弘前大学にお越しいただく場合があります。

12. 書類提出先 〒036-8562 青森県弘前市在府町5  
弘前大学大学院医学研究科内教授候補者選考委員会 宛  
※封筒に「教員応募書類（医学医療情報学講座）在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付してください。

13. 問い合わせ先 〒036-8562 青森県弘前市在府町5  
弘前大学医学研究科総務グループ（総務担当） 鈴木・齊藤  
TEL：0172-39-5539 E-mail：jm5194@hirosaki-u.ac.jp

14. その他 (1) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。  
(ホームページのURL <https://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/>)  
(2) 弘前大学では、女性の方、外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。  
(3) 必要に応じて他の学部・研究科等の教育や業務、あるいは教養教育等を担当していただく場合があります。  
(4) 応募書類により取得する個人情報、本公募による教授候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。

## 医学医療情報学講座教育・研究組織に関する提言

### 1. 講座のあり方と方向性

医学医療情報学講座は医学医療情報学に関する教育と高度な専門的業務を行い、医師の養成に貢献するとともに、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、関連する研究を推進することが求められる。

### 2. 診療

附属病院の医療情報部における病院情報管理システムの企画・開発及び円滑な管理運用を図り、医療DXの推進、サイバーセキュリティ対策の強化、さらには利用者の教育などを通して、高度医療のための基盤と医療安全の確保に貢献することが求められる。また、附属病院のがん・ゲノム診療等に関連して、登録業務を積極的に支援することが求められる。

### 3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に携わることが求められる。特に、医療情報学教育や病院管理学教育においては中心的役割を果たすことが求められる。

### 4. 研究

上記の診療・教育に関連した研究、特に病院管理学、経営分析、医療安全などに関する研究を推進していくことが求められる。また、大学院生の学位指導や弘前大学の産学連携における研究などを積極的に推し進めることも求められる。

### 5. 社会活動

地域における医療提供体制の改善に向け、情報通信技術等を活用した遠隔医療を推進し、地域のがん登録事業や医療機関の情報ネットワーク構築などに関する助言、協力、調整などを通して、地域へ貢献することが求められる。

### 6. その他

医学医療情報学講座の構成員として第一に求められるものは、医療情報管理システムに関する知識と管理能力である。特に、教授には、先進医療施設としての役割を担う附属病院において高度医療推進の一端を担い、各講座・診療科の機能充実を果たすことのできる診療業務に精通した人物が求められる。

医学医療情報学講座教育・研究組織提言委員会

石橋恭之（委員長）、袴田健一（副委員長）、三上達也  
玉田嘉紀、櫻庭裕丈、富田泰史、掛田伸吾、大徳和之